



醤油にニンニクのみじん切りを入れただけのシンプルなタレですが、熱々の水餃子に良く合います。

文化・伝統シリーズ⑤

## 中華人民共和国

今回は中国からの研修生の特集です。中国人にとって今の時期は「春節（しゅんせつ）」（中国暦での新年を祝う期間）が終わり、一年の新たなスタートを切る節目の時期です。この「春節」という言葉、最近ではテレビのニュース等で耳にする日本人も多いのではないのでしょうか。ちなみに今年の春節、日本の暦では2月14日（日）から始まり、2月28日の日曜日に終わりました。日本での新年は週末と重なったこともあり、中国からの研修生達は思い思いに日本で迎える「春節」のスタートを祝っていました。そこで今回は、中国での新年の祝い方を研修生たちに聞いてみました。

私の故郷では「春節」の初日（旧暦1月1日）に親戚や家族が集まって、食事をしたり、お酒を飲んだりして、新年を祝います。このお祝いの席に欠かせない料理が餃子です。そして、春節が終わる1月15日は、それまで家で一緒に春節を過ごしていた先祖の霊を見送るために、家族みんなでお墓参りをします。このお墓参りで春節が無事終了することになります。

遼寧省出身：付 景良さん



PHOTO: <http://wadaphoto.jp/kikou/tokusyuu5.htm>

吉林省出身：



魯 聡さん 鄧 広文さん

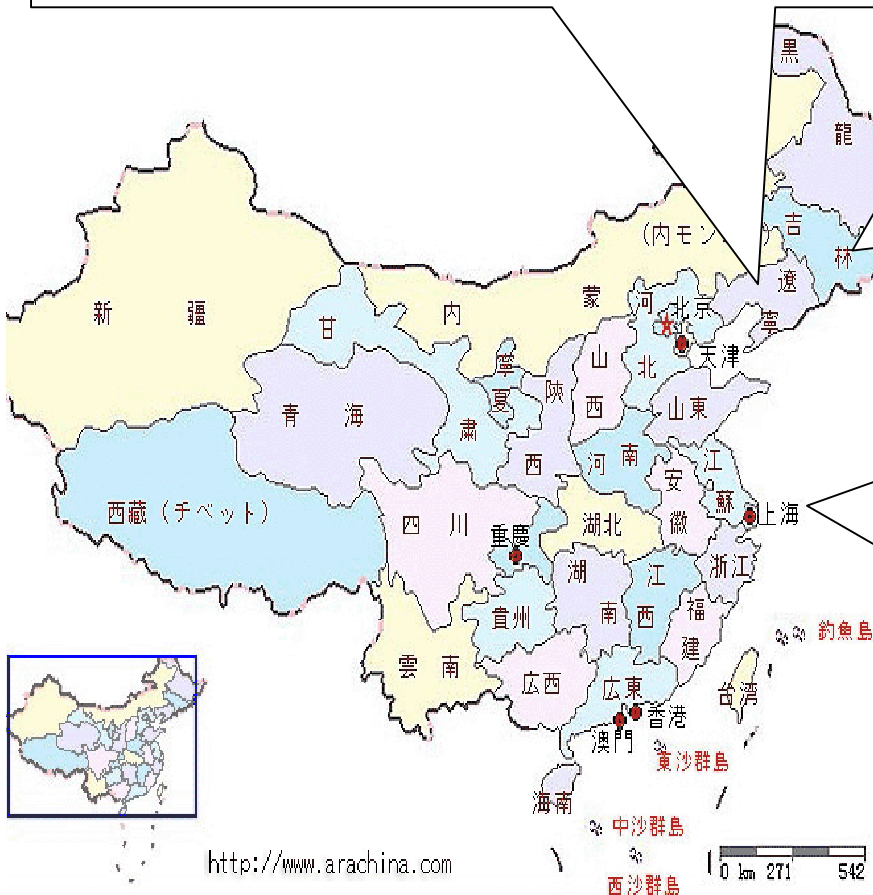
私達の故郷では毎年、大晦日の夜に家族や親戚が集まって新年を祝います。私達の故郷でもやはり餃子を食べます。また、年が明ける直前に先祖をお迎えに、みんなで墓へ行きます。そして、春節の期間は先祖とともに過ごします。

上海出身：舒 超さん



上海では春節に餃子を食べる習慣はあまりありません。その代わりに、よく家族や友達と「はるまき」を食べる習慣があります。「はるまき」は

漢字で「春を巻く」と書く縁起のいい食べ物です。東北地方のように春節にお墓参りに行く習慣も特にありませんが、家族や友達と新年を祝います。



# これが本場中国の餃子作り！



其の1  
まずは皮作り。強力粉に水を加えて、手でしっかりとこねた後、中国から持参した専用の伸ばし棒、器用に円形に伸ばしていきます。

其の2  
具を入れて、しっかり口を閉じます。ちなみに、この日の具は、たまごとニラと鶏肉。ごま油と醤油で味付けていました。



其の3  
中国で餃子と言えば、「水餃子」。たっぷりのお湯で茹で上げ、餃子の皮に弾力が出来たら出来上がり！

2月13日「春節」を迎える準備をする研修生達。この日は彼らにとって大晦日。手際よく次から次に餃子を作っていました。ちなみに、中国東北地方で餃子はあくまでも主食。日本のご飯のおかずとして食べる習慣は無いそうです。

## TIFLA流日本語授業

①まずは先生からの簡単な指示でウォーミングアップ！



エンさん、  
カーテンあけて



②少し難しい指示に挑戦！！



ペンでホワイト  
ボードにねこの  
絵かいて



③慣れてきたところで、今度は研修生同士で練習します。



このモップ  
かたづけて

はい



## ～TPR 教授法～

TPR (Total Physical Response) 教授法とは全身反応教授法と呼ばれる指導方法で、教師は目標言語で指示や依頼をします。学習者はそれを聞いて、全身を使って応えます。学習者は「聴き取り」だけに集中出来るため、心理的負担が比較的軽く、特に初級の学習者に効果があると言われています。本校では、主に動詞の「て形」を用いた指示・依頼の理解と定着を図るためにこのTPR教授法を取り入れています。この日の授業では、研修生同士で指示を出し合う発展的な活動も行ないました。

参考：

『日本語教授法』石井 敏子著 大修館書店